

# Yumenodai75(7月)

～定期テストの勉強の仕方～

## 高校の定期テスト対策・結果を出すコツ！

高校の定期テストは、範囲が広く、難易度も高くなります。上手に勉強計画を立てられず対策不足になったり、苦手な分野は後回しにしたり……と、テスト対策に苦勞するものです。しかし、高校の定期テストをしっかりと乗り越えることは、大学受験を成功させるために大切なことです。

### こんな経験ないですか？定期テスト対策の失敗例

- ・勉強に取り組むまでに時間がかかってしまう。
- ・片っ端から対策しようとして、時間が足りなくなる。
- ・苦手な問題にも取り組むものの、結局わからなくてつまずく。

高校の定期テストは出題される問題量が増え、難易度も一気に上がります。中学の時と同じ感覚でテスト対策を行うと、試験前日に「全然間に合っていなかった」と気付くことがよくあります。出題範囲の広い高校の定期テストを乗り切るためには、しっかりと勉強計画を立ててテスト対策をする必要があります。

「まだ2年生だしそこまで頑張らなくても」「大学受験に合格さえすればいい」と思っている人もいるかもしれません。しかし、高校の定期テストの成績は、大学受験にも影響する重要なものなのです。

### 大学受験にも影響？高校の定期テストが重要な理由

#### 1. 大学入学共通テストの約8割は高1・高2の範囲から出題されるから。

共通テストの内容は難しいものが多いというイメージを持っている人も多いようです。しかしその約8割は、高校1～2年生の学習範囲から出題されています。3年生になってから慌てて受験対策を始めるより、今のうちから定期テストのタイミングを活かして、コツコツと既習範囲を定着させていくのがおすすめです。

#### 2. 大学入試で重視される「記述力」を育む機会になるから。

近年の私立大学の一般選抜試験や、国公立大学の2次試験（個別学力検査）は、記述式で行われることが多くなっています。記述式では、「ただ正答を書けばよい」というわけではなく、「答えを導く過程を正しく記述できるか」も採点の対象となります。こうした状況から、受験対策では「記述力」の養成が重要なポイントとなっているのです。高校の定期テストでは、記述式の割合が多く、大学入試に必要な「記述力」を養うよい機会になっています。

以上の理由から、高校の定期テストは大学受験にも影響するといえます。定期テストへの取り組み方を再確認し、しっかりと対策してください。

## 1. 対策期間を3分割して考える「2週間÷3の法則」

高校の定期テストは、2週間前から対策しましょう。そして、2週間の期間を3つの用途に使い分けると効果的です。

テスト2週間前～ 1週間前	テスト範囲を全体的に見直し、重点的に勉強すべき部分を見極める
テスト1週間前～ 3日前	1週間前までにピックアップした部分を集中的に勉強し、分からないことを減らしていく
テスト3日前～前 日	まだ分からず残っている部分を徹底的に克服しつつ、ほかにやり残したことがあれば最終調整する

この2週間でいかに計画的・戦略的に学習できるかが、定期テスト攻略への第一歩です。

## 2. 戦略的にテスト勉強をする「キジ・サル・イヌの法則」

「2週間÷3の法則」で3分割した各期間中は、それぞれ「キジ・サル・イヌの法則」を用いて勉強していきます。

テスト2週間前～ 1週間前	「キジの目」戦略	テスト範囲全体を見渡し、自分が分からない範囲を見極めましょう。たとえば、教科書のテスト範囲を見直し、覚えていないところやあいまいなところに印をつけておきます。
テスト1週間前～ 3日前	「サルの脚」戦略	「キジの目」で見えたポイントを順に復習していき、分かるようになったら素早く次のポイントに映ります。記憶があるうちにポイントを反復して、効率よく覚えていきましょう。
テスト3日前～前 日	「イヌの鼻」戦略	「サルの脚」で何度もつまづいた部分に戻り、どうしてつまづくのか、その原因を分析しましょう。1点でも多くとれるよう、粘り強く勉強していきます。

このように、期間によって戦略を変えることで、効率的なテスト対策が可能になります。